

アイヌ文化を世界に発信

北海道初の国立博物館を有する「ウポポイ」開業

アイヌ文化の復興、発信拠点となる、民族共生象徴空間(ウポポイ)が7月12日、白老町のポロ湖畔で開業しました。開業前日の政府主催の式典には菅義偉内閣官房長官、萩生田光一文部科学相らが出席。あいさつに立った菅内閣官房長官は、「政府としても地元と十分に連携しながらウポポイのPR、魅力向上に全力で取り組んでいく。アイヌの皆さまに寄り添った政策の推進に努めていく所存」と述べました。

鈴木知事は「ウポポイは本道の魅力を広く発信できる大きなチャンス。ウポポイを北海道の未来へつなげる宝としてオール北海道で力を合わせて育てていくことが重要」と語りました。



「ウポポイ開業への知事メッセージ」

ウポポイでは、皆さまに安心して来訪いただけるよう新型コロナウイルスの感染防止に取り組んでいます。また、ウポポイのロケーションやプログラム、展示を通して、アイヌ文化の魅力を体験し、自然と共に生きたアイヌの方々の暮らしぶりに思いを馳せていただきたいと思います。新しく誕生したウポポイが国内外の多くの方々に親しまれるよう、北海道全体で盛り上げていきたいと思ひます。

直道フォトグラフ

ベトナムとの観光交流促進に向け覚書に調印

令和2(2020)年1月12日



道内7空港民間運営開始記念式典に出席

令和2(2020)年1月18日



テロ対策に万全期す 国民保護共同図上訓練

令和2(2020)年1月21日



一次産業団体との懇談会

令和2(2020)年6月11日



北海道日本ハムファイターズ激励と「ウポポイ」PR

令和2(2020)年8月8日



平成30年胆振東部地震被災地視察

令和2(2020)年8月18日



特色ある地域づくりに取り組む方々を訪問する「なほみちカフェ」道立北の森づくり専門学院を視察 酒づくり関係者の皆さまと懇談

令和2(2020)年10月15日



航空機による北海道本島側からの北方領土上空慰霊

令和2(2020)年10月21日



「活力あふれる北海道の未来を実現する会」会報

鈴木直道レポート Vol.2

発行所 / 〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目
2-10 北2条ビル4F
TEL011-209-7070
FAX011-209-7080
令和2年10月発行



「やれることは全てやる!」前例なきコロナ禍に立ち向かい
アフターコロナの時代に北海道の価値を示す



ごあいさつ

こんにちは。鈴木直道です。私が知事に就任してから1年6か月が過ぎました。この間様々なことがありましたが、新型コロナウイルス感染症への対応は、かつて経験したことがない、そしてこれからの北海道を考える上でも極めて大きな課題です。

本道では、2月中旬以降の感染の拡大に伴い、全国に先駆けて小中学校を休校し、道独自の緊急事態宣言を出しました。その後も、感染状況や経済への影響などに応じて切れ目の無い対策を講じてきました。どのような対応を取れば間違いないという前例もなく、私にとっても、まさに手探りでしたが、「やれることは全てやる」との考えのもと、できる限り迅速に判断して取り組んできました。

今も、全国的に感染が広がっており、予断を許さない状況

が続いています。本道においても、引き続き、感染拡大防止に向けてあらゆる対策を進めながら、社会経済活動との両立を目指す「新北海道スタイル」をより一層浸透・定着させる必要があると考えています。

また、コロナウイルスは、私たちの価値観にも少なからず影響を与えていると感じています。人口や経済活動の過度な集中は、今回の様な事態ではリスクにもつながりかねない。ITの活用などにより、地方や在宅でも効率的に仕事を行うことができるといった気付きもあったと思います。こうした点から、アフターコロナの時代には北海道の価値を更に発揮できるのではないかと考えています。コロナの先にある活力に満ちた地域の姿を描きながら、道民の皆さまの命と暮らしを守り、北海道の発展に向けて全力で取り組んでまいります。皆さまのご理解、お力添えをよろしくお願いいたします。

北海道知事 鈴木直道

粘り強さと行動力で、コロナ後の新北海道創生を

皆さまには、日頃から当会の活動にお力添えをいただき厚くお礼申し上げます。さて、鈴木道政においては、就任2年目の本格的な予算編成に臨み、大きく踏み出そうとして間もなく、新型コロナウイルスの感染拡大に直面しました。難しい判断の連続だったでしょうし、厳しい選択を迫られる場面も多々ありましたが、持ち前の粘り強さと行動力で果敢に取り組んできたと思います。

これからも皆さまとのネットワークを大切に、より充実した後援会活動を展開し、鈴木知事を全力で支えてまいりたいと考えています。今後とも温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

活力あふれる北海道の未来を実現する会 会長 似鳥 昭雄



鈴木直道プロフィール

1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に当選。

新型コロナウイルス対策に全力!

2月3日 自民党道連・議員会から 予算編成で申し入れ

自民党道連と道議会自民党・道民会議議員会から、令和2年度当初予算において、新型コロナウイルスへの対応を強化するよう申し入れを受けました。その後も、道内外の状況の推移を踏まえた必要な対策について申し入れをいただき、予算に反映しました。



2月29日 北海道への重点支援を 安倍総理に緊急要望

検査体制の充実など北海道を重点対策地域として緊急かつ集中的に支援していただきたい旨、安倍晋三内閣総理大臣に緊急要望を行い、「しっかり対応していきたい」とのお言葉をいただきました。あわせて菅義偉内閣官房長官、加藤勝信厚生労働大臣に対しても緊急要請を行いました。



4月24日 「SOS!牛乳チャレンジ」 道産食材の応援に一役

コロナの影響で生乳の需要が落ち込んでいることを受け、牛乳を飲み干したり、牛乳とヨーグルトを使った「ラッシー」の作り方を紹介したりする動画をツイッターとYouTubeで公開するとともに、苦境にある酪農業界への支援を呼びかけました。他にも道産食材の魅力を伝える活動を展開しています。



6月17日 「HOKKAIDO LOVE!」 プロジェクト記者会見に出席

北海道エアポートの蒲生猛社長、北海道観光振興機構の堀八義博会長とともに「HOKKAIDO LOVE!」プロジェクト共同記者会見に臨みました。道民の皆さまに北海道の景色や旅の思い出などの写真をハッシュタグ「#hokkaidolove」を付けてSNSに投稿していただき、道外や海外の方々との交流を通じて、コロナ収束後の観光振興につなげたいと考えています。



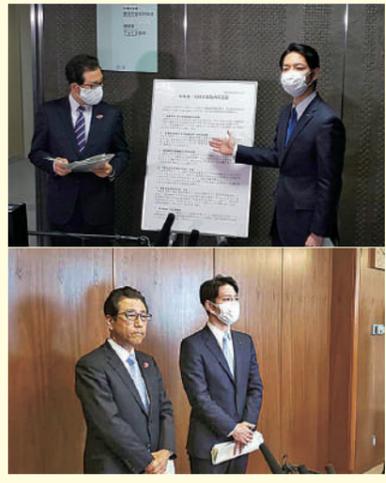
2月28日 感染拡大を受けていち早く 道独自に緊急事態宣言

全道各地で感染者が確認される状況を踏まえ、「やれることは、全てやる」との考えから「道民の底力でコロナをストップしよう」との決意で、いち早く道独自の新型コロナウイルス緊急事態宣言を発表。臨時記者会見で皆さまにご理解とご協力を呼びかけました。



4月12日 「道・札幌市緊急共同宣言」を 秋元市長と発表

第2波ともいえる感染拡大の危機を早期に収束させるため、札幌市の秋元克広市長と対応を協議し、6項目からなる緊急共同宣言を発表しました。札幌への不要不急の往来の自粛、接客を伴う飲食の自粛、小中学校や高校等の一斉休校などを盛り込みました。



6月10日 文化芸術活動の灯を 絶やさないための活動を支援

北海道ライブ・エンタテインメント連絡協議会が立ち上げた「北海道STAGE AID(ステージエイド)プロジェクト」の発表会見に同席しました。道としてもコロナの影響で大変厳しい状況にある文化芸術活動を支援するため、都道府県で初のふるさと納税制度等を活用した支援事業をスタートしました。



7月26日 「エールを北の医療へ!」 医療従事者を応援

感染拡大防止の最前線で働く医療従事者等の皆さまを応援するためのプロジェクト「エールを北の医療へ!」に、総額10億円以上、うちクラウドファンディングでは約1億6千万円の寄付をいただいております。医療従事者等への道産品の贈呈や医療資機材の整備に活用いたします。ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



〈道内における新型コロナウイルス対策の主な取組〉 ※青字が道、黒字が国の取組等

- 1月28日 道内1例目の感染者を確認
- 2月25日 知事から北海道教育委員会に対し、小中学校の一斉臨時休校の検討を要請
- 2月27日 道内の一斉休校開始(～3月4日)
- 2月28日 道独自の緊急事態宣言を発表(～3月19日)
- 2月29日 安倍内閣総理大臣に対し緊急要望
- 3月2日 全国一斉休校開始(～春休みまで)
- 3月13日 改正新型インフルエンザ等対策特別措置法が成立
- 3月19日 道独自の緊急事態宣言終了
- 4月7日 国の緊急事態宣言(7都府県、～5月6日)
- 4月12日 北海道・札幌市緊急共同宣言を発表
- 4月16日 国が緊急事態宣言を全都道府県に拡大
- 4月17日 道の緊急事態措置を決定
- 4月20日 道の緊急事態措置を改訂し、休業要請等を追加
- 4月30日 知事・札幌市長・市長会長・町村会長連名によるGW緊急メッセージを発表
- 5月4日 国が緊急事態宣言の期間を5月31日まで延長
- 5月8日 緊急メッセージ第2弾を発表
- 5月15日 緊急事態措置の改訂(石狩地域を除く地域について休業要請の一部解除)、緊急メッセージ第3弾を発表
- 5月25日 国の緊急事態宣言が解除、道の緊急事態措置解除
- 6月1日 全ての施設の休業要請を解除
- 8月1日 外出自粛、イベント開催制限の段階的緩和を開始
- 新北海道スタイル集中対策期間を開始(8月、9月)

道独自の緊急対策

第1弾～第5弾 予算額累計8,034億円
対策規模累計1兆8,121億円

- #### 感染拡大の防止
- 感染者の増加に対応するため病院などの機器整備や診療継続を支援
 - 高齢者や障がい者の方々、子どもたちが過ごす施設での感染防止の取組を支援
 - 「エールを北の医療へ!」で医療機関や医療従事者等を応援

- #### 社会経済の再生
- 中小・小規模事業者の皆さまの事業継続を支える融資制度の創設・拡大、就業機会の確保
 - 消費が落ち込んだ牛肉や牛乳、水産物、木材の需要を創出
 - どうみん割やプレミアム商品券、公共交通の利用拡大など、地域内の交流・消費の循環を促進